カーズ2乗用玩具マックィーン

取扱説明書

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みください。安全上の注意事項をよくご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながります。また、本書をいつでもご参照できるよう、大切に保管してください。

＜目次＞

①定義とシンボルマークについて・・・・・・・・・・・・・・・P1
②安全上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
③梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
④各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
⑤組み立て方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
⑥電池の入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
⑦おもちゃの説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
品質保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では、以下のような内容が「警告」「注意」として使用されています。

⚠警告 **身体に関する危険**
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 **財物や商品本体に関する危険**
財物や商品本体の損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

対象年齢：1 歳以上 3 歳まで
乗車体重：20kg まで

⚠警告（けいこく）

保護者（ほごしゃ）の方（かた）へ　必（かなら）ずお読（よ）みください。

本商品（ほんしょうひん）は、幼児用（ようじよう）です。安全（あんぜん）のため、必（かなら）ず下記（かき）の事項（じこう）を守（まも）ってください。

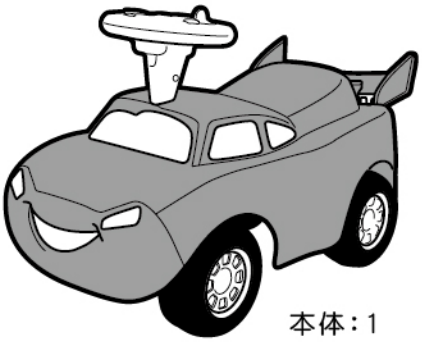
《思わぬ事故のもとになりますので、下記に注意してください。》

- ●本商品でお子様が遊ぶ場合、保護者が必ずそばについて安全を確保してください。
- ●戸外では絶対に使用しないでください。
- ●階段、縁側など転落の恐れのある場所、傾斜のある場所、火気のある場所では絶対に使用しないでください。
- ●二人乗りなどの危ない乗り方は、絶対にしないでください。
- ●お子様を座席に乗せて押手棒を押さないでください。
- ●押手棒の輪の中に頭・腕・足などを入れないでください。
- ●押手棒の取り付け、取り外しなど組み立ての必要な部品は保護者が行ってください。
- ●踏み台など乗用以外の目的で使用しないでください。
- ●座席の上には立たないでください。
- ●破損、変形、故障したときは使用しないでください。
- ●車輪の周囲や回転部分には、手・足・衣服などをはさまれないように注意してください。
- ●電池を交換する際に小さなネジを外しますので、ネジを誤って飲み込まないように注意してください。
- ●梱包袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

注意（ちゅうい）

- ●故障したまま、またはネジがゆるんだまま乗ると危険ですので、保護者の方は定期的に手入れや点検を行ってください。
- ●万一、ネジなどの小部品が外れたときは、必ず保護者が保管してください。
- ●ぶつけたり、ふりまわすなど乱暴な遊びをしないでください。
- ●畳の上では使用しないでください。畳が擦り切れる場合があります。
- ●フローリングの上で使用すると、フローリングが傷付く場合があります。
- ●じゅうたんの上で使用すると、車体一部が接地する場合があります。
- ●敷居などの段差を乗り越えないでください。
- ●テレビの近くで使用するとき、まれにテレビ画像が乱れる場合があります。
- ●おもちゃ部分に水などの液体や、砂をかけないでください。故障の原因となります。
- ●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、ライトが光らなくなることがあります。早めに電池の交換をしてください。
- ●押し車として使用するとき、床の状態によっては滑る恐れがありますので、十分ご注意ください。
- ●大人が加重をかけると本体が破損する恐れがあります。乗車体重をよく確認してから使用してください。
- ●雨ざらしにしないでください。

③ 梱包内容

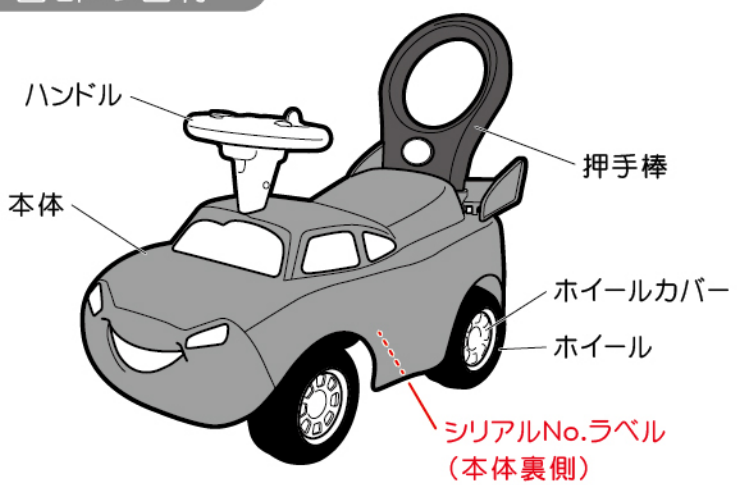


本体：1

押手棒：1

取扱説明書：1

④ 各部の名称

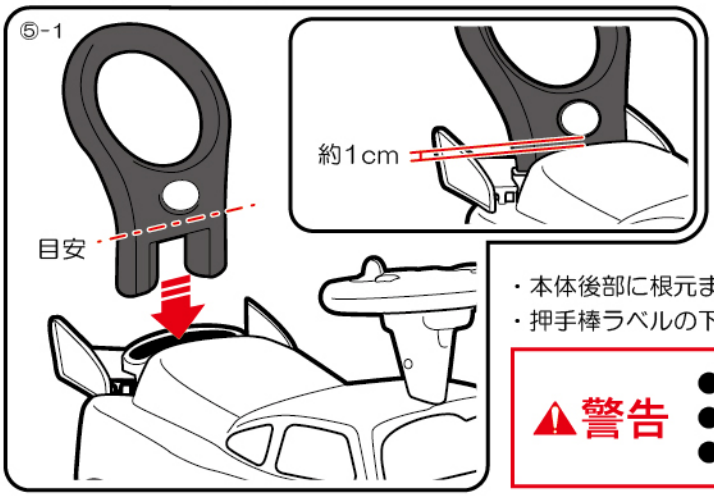


【材質】

本体	:ポリプロピレン（PP）
ホイール	:ポリプロピレン（PP）
押手棒	:ポリエチレン（PE）
ホイールカバー	:ABS樹脂
ハンドル	:ABS樹脂

⑤ 組み立て方

●押手棒の取り付け



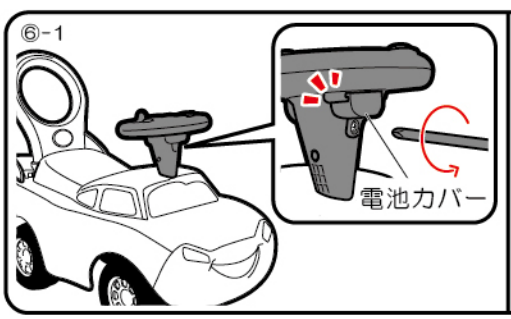
・本体後部に根元までしっかりと差し込みます。
・押手棒ラベルの下の淵からサドルの頂点までの間隔が約1cm程度になるように挿入します。

⚠警告

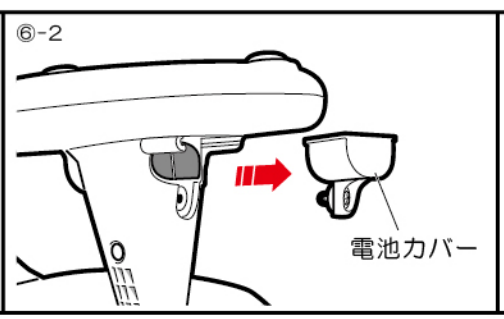
●押手棒の輪の中に頭・腕・足などを入れないでください。
●お子様を座席に乗せて押手棒を前後に押さないでください。
●お子様を乗せた状態で押手棒を持ち、車体を持ち上げないでください。

⑥ 電池の入れ方

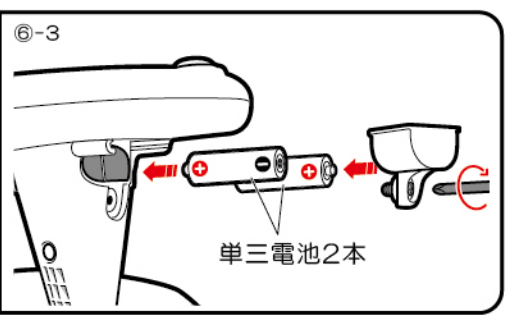
●電池を入れるときにはプラスドライバーが必要です。付属していませんのでご家庭のものをご使用ください。



・ハンドルの裏にある電池カバーのネジをゆるめます。



・ネジごと電池カバーを外します。

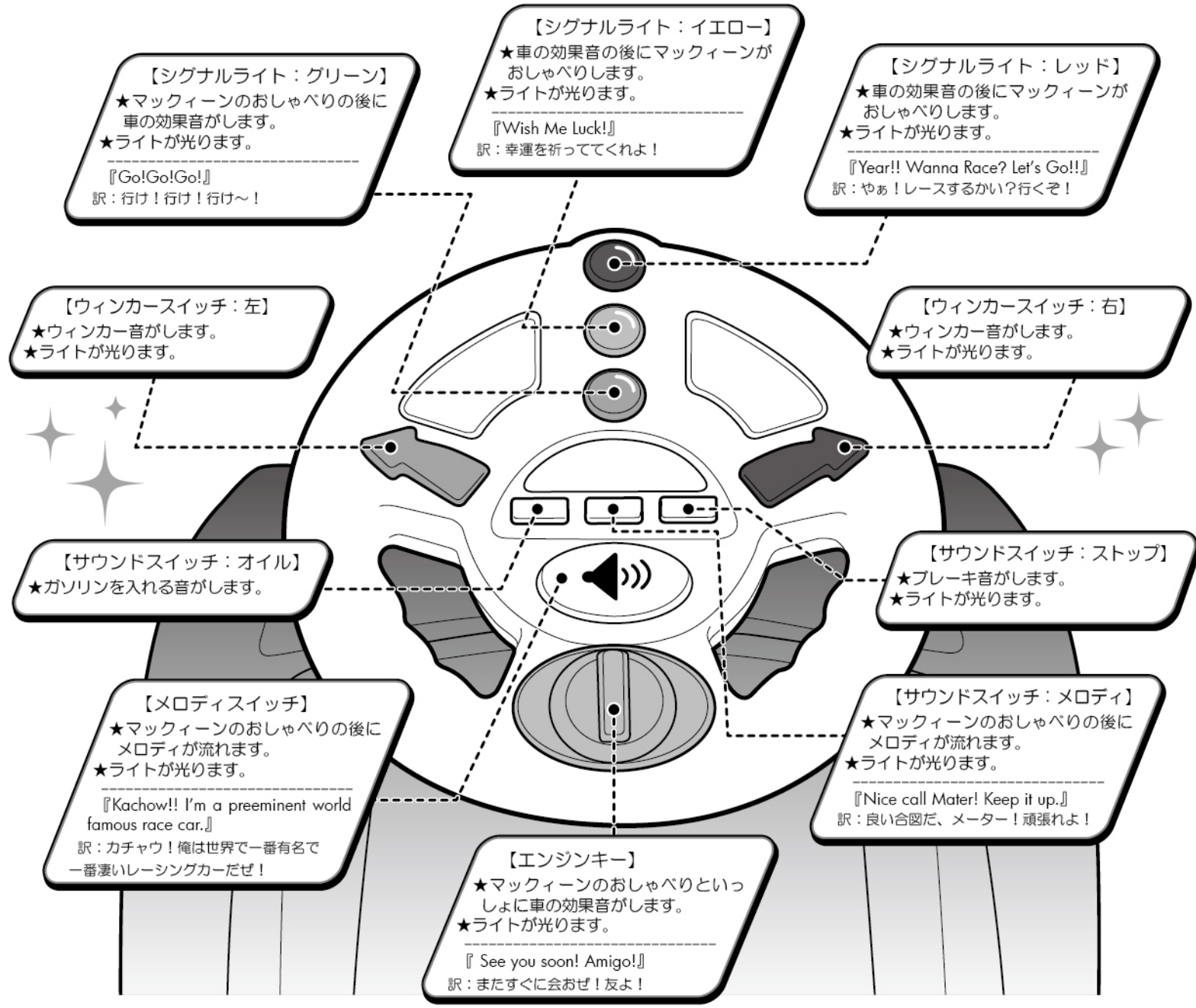


・プラスマイナスを確認し、電池をセットしてください。電池カバーをつけてからネジをしめてください。

≪乾電池を誤使用すると発熱、破損、液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。≫

- ●充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
- ●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。交換の際は、二本まとめて交換してください。
- ●万一、電池から漏れた液が目に入ったときにはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や衣服に付いたときは水で洗ってください。
- ●安全のため、組み立て及び乾電池の交換は保護者が行ってください。
- ●水に濡れたらすぐに使用をやめてください。ショートの原因になります。また、充電、分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。
- ●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、途中で切れることがあります。早めに電池の交換をしてください。
- ●+−（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- ●長期間使用しない場合は電池を外してください。液漏れなどの原因となります。

⑦ おもちゃの説明



注 意

- ●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、ライトが光らなくなることがあります。早めに電池の交換をしてください。
- ●長時間連続して音を鳴らしていると、まれに各機能が働かなくなります。この場合は一度電池を取り出し、再び電池を入れてください。